

2011年度 就業支援事業所 しあんくれーる 事業計画

児童養護施設退所者などの就業支援事業として 2009 年度に始めた本事業所は、3 年目を迎えるにあたり、締めくくりの年として今後に関わる活動が求められている。

1. 職員体制

こどもの家職員にまきばの家職員も加わり、事業が計画的に遂行できるように体制を整える。まきばの家やこどもの家職員と連携を持ちながら活動を進める。

2. 経営面

補助金は、年間約 430 万円と決定している。予算に合わせ、兼務という人員配置とならざるを得ない。

3. 各施設及びハローワーク、ヤングジョブステーションとの連携

中部地区、西部地区の児童養護施設 6 ヲ所、児童自立支援施設 1 ヲ所が守備範囲となっている。各施設と連携を深めるとともに、退所予定者の実態把握に努め、早い段階から対象児の支援体制を整えていきたい。また、各地のハローワークやヤングジョブステーションとも連携をとり、新たな職場を開拓していきたい。

4. 就業支援セミナー「社会に旅立つ君に」開催

続き 2010 年度事業で、3 回に分けて行った「社会に旅立つ君に」は、事後のアンケート結果を見ると、2009 年度と同様に児童にも付き添って来た職員にも大変好評であった。2011 年度は、内容をさらに充実したものを提供していきたい。

5. 次の事業への準備

本事業が 3 年間（2011 年度まで）の時限付き補助金事業であることが明確であるため、この事業を何らかの形で繋いで行きたいと考えている。2010 年度は、袋井市や静岡県の関係者の尽力にもかかわらず「地域若者サポートステーション事業」の申請が厚生労働省から認められず残念な結果に終わったが、本年度も状況を見据えながら再度挑戦のチャンスを窺いたい。

以上